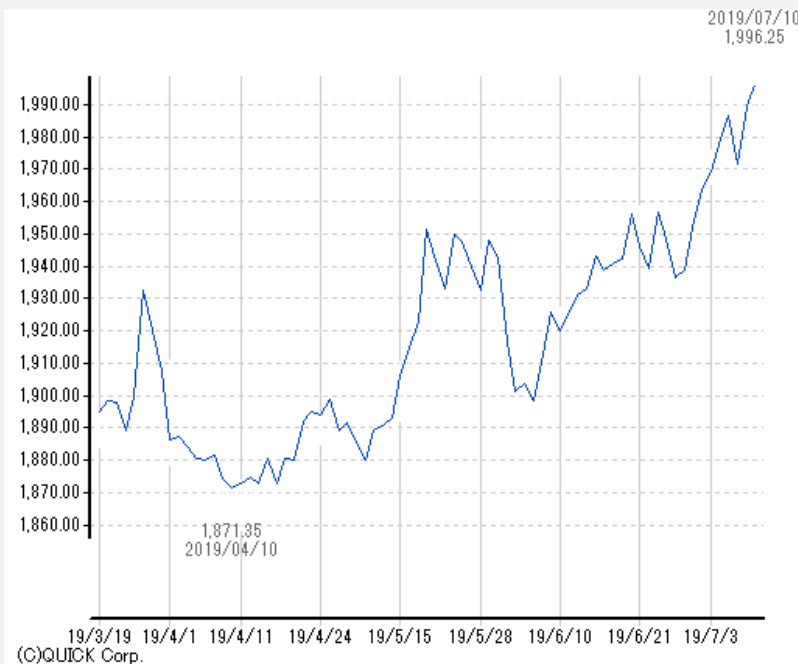


● J-REIT 4年半ぶりの高値に

不動産投資信託（REIT）の総合的な値動きを示す東証 REIT 指数の終値は7月以降続伸し、7月10日に1996.25を記録し、2007年10月の2057.96以来、約12年ぶりの高値水準を回復した。2014年10月以来、日銀が年900億円のREITの購入を続けており、値動きのリスクが小さいことに加え、国内外の金利の低下傾向を背景に、海外投資家を含めて、J-REITへの分配金利回りの高さに着目した資金流入が続いているためと考えられる。

（図表1-1）東証 REIT 指数の最近4か月の動き



（図表1-2）東証 REIT 指数の最近6年間の動き

